



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 4045 URL <http://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 美己志

問合せ先責任者 (役職名) グループ管理本部IR広報部長 (氏名) 根本 洋

TEL 03-3597-7215

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

2020年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	65,775	8.7	5,665	22.4	6,200	23.0	3,786	31.6
2019年12月期第2四半期	72,023	1.5	7,305	6.4	8,053	3.0	5,537	7.7

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 1,570百万円 (69.7%) 2019年12月期第2四半期 5,180百万円 (36.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	28.82	
2019年12月期第2四半期	42.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	241,382	197,052	79.6
2019年12月期	247,211	198,579	78.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 192,241百万円 2019年12月期 193,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		15.00		15.00	30.00
2020年12月期		15.00			
2020年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,000	7.6	12,000	12.9	12,900	15.3	8,200	21.1	62.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	131,996,299 株	2019年12月期	131,996,299 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	1,330,078 株	2019年12月期	371,454 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	131,395,628 株	2019年12月期2Q	131,628,536 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後さまざまな変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)の世界経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行から、社会経済活動は停滞し、景気は急激に悪化しました。わが国経済も、4月に発出されました緊急事態宣言は全都道府県において5月25日までに解除されましたが、6月下旬に入り都市部を中心に感染者数が再び増加するなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、自動車をはじめとした幅広い産業分野において需要が減退し、半導体関連や抗菌・抗ウイルス用途を除く大部分の製品の販売数量は減少しました。また、原油やナフサなどの原料価格低下は、アクリルモノマー製品など一部製品の販売価格の引き下げを伴いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は657億7千5百万円(前年同期比8.7%減収)、営業利益は56億6千5百万円(前年同期比22.4%減益)、経常利益は62億円(前年同期比23.0%減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37億8千6百万円(前年同期比31.6%減益)となりました。

(イ) セグメント別の業績

① 基幹化学品事業

電解製品は、広範な産業分野において需要が減退し販売数量が減少したことなどから減収となりました。アクリルモノマー製品は、アクリルモノマーの減販に加え原料価格低落に伴う製品価格の低下などから減収となりました。工業用ガスは、販売数量の減少から減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は287億4千8百万円(前年同期比12.1%減収)となりました。

営業利益は、電解製品やアクリルモノマー製品の収益悪化が利益を押し下げ、19億9千5百万円(前年同期比28.9%減益)となりました。

② ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、自動車関連や製紙分野などにおいて需要が減少し減収となりました。アクリルオリゴマーは、国内外において塗料やインキ用途向けの販売が減少し減収となりました。高分子凝集剤は、販売価格の低下や輸出の減少などから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は136億8千4百万円(前年同期比6.1%減収)となりました。

営業利益は、アクリルオリゴマーの減販や高分子凝集剤の採算悪化に加えアクリルポリマーの固定費負担の増加が利益を圧迫し、16億9千3百万円(前年同期比11.9%減益)となりました。

③ 接着材料事業

瞬間接着剤は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け国内外市場において工業用途の販売が大幅に減少したことなどから減収となりました。機能性接着剤は、自動車関連分野向けをはじめとした製品の需要低迷に加え一部不採算製品の販売縮小などから減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は48億4千9百万円(前年同期比11.4%減収)となりました。

営業利益は、瞬間接着剤および機能性接着剤の減販や研究開発費などの固定費の増加が利益を圧迫したことから、2億9千1百万円(前年同期比61.6%減益)となりました。

④ 高機能無機材料事業

高純度無機化学品は、リモートワークの増加などに伴う半導体向けの需要が堅調に推移し増収となりました。無機機能材料は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から抗菌・抗ウイルスの需要が拡大したほか電子部品向けイオン捕捉材の販売も増加し増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は44億4千7百万円(前年同期比8.1%増収)となりました。

営業利益は、液化塩化水素などへの積極的な設備投資に伴う固定費増加がありましたが、無機機能材料および高純度無機化学品の増販が寄与し、13億円(前年同期比8.6%増益)となりました。

⑤樹脂加工製品事業

管工機材製品とライフサポート製品は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要減少などから減収となりました。建材・土木製品は、受注物件の減少などから減収となりました。エラストマーコンパウンドは、一般的に需要が低迷し減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は121億7千9百万円（前年同期比8.3%減収）となりました。

営業利益は、管工機材製品の主要原料価格の低下は増益要因となりましたが、管工機材製品およびライフサポート製品の減販やエラストマーコンパウンドの固定費増加などから、3億5千9百万円（前年同期比38.0%減益）となりました。

⑥その他の事業

新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業などにより構成される当セグメントは、売上高は18億6千5百万円（前年同期比1.3%減収）、営業利益は1千8百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

資産合計は、「受取手形及び売掛金」および「投資有価証券」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ58億2千9百万円、2.4%減少し、2,413億8千2百万円となりました。

負債合計は、「支払手形及び買掛金」が減少しましたため、前連結会計年度末に比べ43億2百万円、8.8%減少し、443億3千万円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により「利益剰余金」が増加しましたものの、「その他有価証券評価差額金」の減少および「自己株式」が増加しましたため、前連結会計年度末に比べ15億2千7百万円、0.8%減少し、1,970億5千2百万円となり、自己資本比率は79.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が減少しましたため、前年同期に比べ収入が6億2千1百万円減少し、124億8千2百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、期間が3か月超の資金運用を減らしましたため、前年同期に比べ支出が9億3千万円減少し、72億1千8百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出および自己株式取得のための預託金の支出が増加しましたため、前年同期に比べ支出が31億4千3百万円増加し、52億8千8百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は430億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行した影響から国内外の社会経済活動は大きく停滞し、景気は大幅に悪化しました。また、本感染症拡大に伴う脱グローバル化の動きや貿易面にとどまらない米中間の対立激化などは世界経済の先行きに一層の不確実性をもたらしております。

そのような状況下であり、業績の立て直しに向け、製品競争力の強化につながる設備投資は適切なタイミングを見極めつつ引き続き着実に実行し、また研究開発においては時代が必要とする先端分野の製品群の開発に注力してまいります。リモートワーク等を組み合わせることにより従業員の健康の維持、生産性の向上を図り、引いては安全、安定操業の継続を徹底してまいります。

これらの施策を強力に実行することにより、中長期的な企業価値の向上を図るとともに、当社グループの企業理念である「素材と機能の可能性を追求し、化学の力で新しい幸せをあなたへ届けます。」を一層推進してまいります。

なお、本感染症の収束時期を見通すことは困難ではありますが、政府方針である感染拡大防止策と社会経済活動活性化策の両立が図られることで、景気は最悪期を脱し、徐々に回復するものと期待されます。このような前提の下、2月13日に発表しました2020年通期の連結業績予想を修正いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,989	40,013
受取手形及び売掛金	42,534	37,396
有価証券	44,000	35,000
たな卸資産	18,161	18,924
その他	1,311	3,262
貸倒引当金	△36	△35
流動資産合計	138,959	134,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,493	23,160
機械装置及び運搬具（純額）	25,857	25,202
土地	17,632	17,630
その他（純額）	8,392	10,458
有形固定資産合計	74,376	76,451
無形固定資産		
	727	737
投資その他の資産		
投資有価証券	28,711	25,284
退職給付に係る資産	2,045	2,181
その他	2,406	2,181
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	33,148	29,632
固定資産合計	108,252	106,821
資産合計	247,211	241,382

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,413	12,374
短期借入金	2,503	2,503
未払法人税等	2,030	1,660
引当金	16	15
その他	13,948	13,181
流動負債合計	32,911	29,734
固定負債		
長期借入金	9,031	8,952
退職給付に係る負債	161	153
その他	6,528	5,490
固定負債合計	15,721	14,595
負債合計	48,632	44,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	16,411	16,415
利益剰余金	146,252	148,064
自己株式	△302	△1,289
株主資本合計	183,247	184,076
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,974	6,769
為替換算調整勘定	1,581	1,415
退職給付に係る調整累計額	△40	△20
その他の包括利益累計額合計	10,516	8,164
非支配株主持分	4,815	4,810
純資産合計	198,579	197,052
負債純資産合計	247,211	241,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	72,023	65,775
売上原価	51,687	47,293
売上総利益	20,336	18,482
販売費及び一般管理費	13,030	12,816
営業利益	7,305	5,665
営業外収益		
受取利息	56	37
受取配当金	588	458
持分法による投資利益	140	158
固定資産賃貸料	133	161
為替差益	33	—
その他	114	112
営業外収益合計	1,067	928
営業外費用		
支払利息	47	47
為替差損	—	217
環境整備費	195	50
遊休設備費	25	17
その他	51	59
営業外費用合計	319	393
経常利益	8,053	6,200
特別利益		
固定資産売却益	3	—
補助金収入	9	—
投資有価証券売却益	5	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産処分損	28	233
投資有価証券評価損	—	361
特別損失合計	28	595
税金等調整前四半期純利益	8,043	5,605
法人税等	2,360	1,691
四半期純利益	5,682	3,914
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	127
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,537	3,786

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	5,682	3,914
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△313	△2,196
為替換算調整勘定	△216	△167
退職給付に係る調整額	27	20
その他の包括利益合計	△502	△2,344
四半期包括利益	5,180	1,570
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,059	1,435
非支配株主に係る四半期包括利益	120	134

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,043	5,605
減価償却費	4,559	4,862
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1	△1
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△95	△107
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1	△8
受取利息及び受取配当金	△644	△495
支払利息	47	47
為替差損益(△は益)	△35	247
持分法による投資損益(△は益)	△140	△158
固定資産売却損益(△は益)	△3	—
補助金収入	△9	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	361
固定資産処分損益(△は益)	28	233
売上債権の増減額(△は増加)	3,861	5,116
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,402	△811
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,613	△2,027
その他	2,639	1,031
小計	15,222	13,894
利息及び配当金の受取額	777	587
利息の支払額	△54	△53
補助金の受取額	9	—
法人税等の支払額	△2,851	△1,945
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,104	12,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	897	△3,181
有価証券の純増減額(△は増加)	—	5,000
投資有価証券の取得による支出	△23	△55
投資有価証券の売却による収入	5	—
有形固定資産の取得による支出	△8,313	△8,564
有形固定資産の売却による収入	3	—
その他	△717	△417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,148	△7,218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△79	△79
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△3	△1,062
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	—	△1,939
リース債務の返済による支出	△87	△96
配当金の支払額	△1,847	△1,972
非支配株主への払戻による支出	—	△4
非支配株主への配当金の支払額	△128	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,145	△5,288
現金及び現金同等物に係る換算差額	△123	△83
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,686	△108
現金及び現金同等物の期首残高	44,990	43,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,677	43,005

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年1月30日開催の取締役会決議に基づく自己株式1,039,900株の取得などを行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間にて自己株式が987百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,289百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	32,692	14,566	5,475	4,113	13,285	70,134	1,889	72,023	—	72,023
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,954	605	40	20	13	2,634	1,188	3,822	△3,822	—
計	34,646	15,172	5,516	4,133	13,299	72,768	3,078	75,846	△3,822	72,023
セグメント利益	2,805	1,922	757	1,197	579	7,262	35	7,298	7	7,305

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹 化学品 事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 無機材料 事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	28,748	13,684	4,849	4,447	12,179	63,909	1,865	65,775	—	65,775
セグメント間の内部 売上高または振替高	1,882	590	37	32	5	2,547	738	3,286	△3,286	—
計	30,630	14,275	4,886	4,479	12,185	66,457	2,604	69,061	△3,286	65,775
セグメント利益	1,995	1,693	291	1,300	359	5,639	18	5,658	7	5,665

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規製品の研究開発事業、輸送事業、商社事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、主にセグメント間取引消去によるものです。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。